



# 南郷の風

令和2年度  
第15号

## スキー教室

2月19日(金)は、1・3・4年生のスキー教室が行われました。翌週の26日(金)は、2・5・6年生のスキー教室が行われました。実は、昨年度のスキー教室の写真の一枚が令和3年度福島県教員採用試験地域採用枠の案内に使用されています。ご存じでしたか?福島県や南会津教育事務所のホームページから確認できます。

今年度のスキー教室は昨年度とは異なり、十分な雪量と南郷ならではの高い雪質の中、実施することができました。

ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

クロスカントリースキー同様、南会津町ならではの冬のスポーツを体験的に学ぶことができる貴重な学習です。南郷小の学校経営・運営ビジョンには、「地域資源を活用した体験活動の充実」とあります。また、南会津町の教育大綱には、「伝統文化の保存と継承に努め、心豊かな人を育みます」とあります。この体験を通して、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する大人に育ててほしいと思います。



お知らせ

次年度からは、月の主な行事予定をこの学校だよりでお知らせいたします。そのため、不特定多数の方の閲覧が可能なホームページへの掲載は、控えさせていただきます。保護者の皆様には、今まで通り紙媒体とメールで配付します。また、地域への回覧も今まで通り行います。

## 学力テスト・学期末テスト

2月9日(火)は、全学年国語科の学力テストがありました。翌日の10日(水)は、全学年算数科の学力テストが行われました。また、2月24日(水)は、全学年国語科の学期末テストが行われました。翌日の25日(木)は、全学年算数科の学期末テストが行われました。

学力テスト・学期末テストでは、今年度学習した内容の理解度や定着度を測ります。

テストを行うことにより、子ども自身が自らの学習について振り返るとともに、教師自身もその指導について振り返ります。今後のより良い授業のありかたを子どもとともに考えていけたらと思います。

また、家庭学習においても自己マネジメント力をつけるための学習について振り返りたいと思います。

子ども達の未来を考えると、変化の激しい社会において自ら学び考え、対応していくことが今以上に求められると思います。これからも様々な学習を通して、学校を離れても生涯にわたって学び続ける基礎が身に付けられるように取り組んでまいります。



## 自己評価・学校関係者評価

右記の通り、教職員自身の自己評価とそれに対する学校関係者評価がまとまりましたのでお知らせいたします。

今後とも、子ども達の未来のために、学校・家庭・地域が協力して様々なことに取組んでいければと思います。よろしくお願いいたします。

令和2年度 学校評価報告書  
南会津町立南郷小学校

1 自己評価

内容及び評価結果(達成率、1回目:左、2回目:右)			
1	望ましい人間関係を構築する集団づくりに努め、成果が表れている。	7	7
2	児童の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が育っている。	7	5
3	地域学習や生涯学習において、積極的に関わり、本質的・早期発見・対応ができています。	7	0
4	「南郷小のよい子の一日」を率先垂範し、児童に浸透している。	7	2
5	ふるさと学習を推進するため、地域の教育資源を生かしている。	7	3
6	授業改善に努め、児童は学ぶ楽しさを実感している。	7	2
7	困に応じた指導により、児童の学力が向上している。	7	3
8	家庭学習の改善に努め、その成果が表れている。	7	2
9	児童の読書の改善に努め、量・質の向上がみられる。	7	8
10	児童の情報機器を適正に利用する意識が醸成されている。	7	2
11	望ましい生活習慣が児童の身に定着している。	7	7
12	危険の回避、防止の指導により、児童は安全な生活に努めている。	7	6
13	授業を工夫することで、児童は運動の楽しさを実感している。	7	0
14	継続的な運動の機会を確保し、児童の体力が向上している。	7	1
15	開かれた教育のために、学校は保護者等に情報を発信している。	8	7
16	保護者等から善意で、相談しやすい学校になっている。	8	7
17	整理・整備され、安全で学びやすい学校になっている。	8	1
18	事故や災害に対して、迅速かつ適切な対応ができる学校である。	8	7
19	児童にとって魅力ある学校行事を学校は丁寧に行っている。	8	4
20	地域にある各学校との交流・連携に学校は努めている。	8	3
21	私は、児童や保護者の願いに応える教育活動を行っている。	8	7
22	私は、組織の一員としての自覚の下、業務に取り組んでいる。	8	7
23	校長は、学校経営にリーダーシップを発揮している。	4	7
24	管理職は、教職員が働きやすい環境づくりに努めている。	4	7
25	学校は、子どもと向き合う時間の確保、多忙化解消に努めている。	1	5
26	学校は、教育効果が高まるように適切な予算執行が行われている。	1	5

2 学校関係者評価

- 自校評価の結果について
  - 日々授業や保護者対応されているので、もっと高い評価でもよい。
  - 25番の評価が低いのは、16番等を頑張っているからだと思う。
- 自己評価の結果を踏まえた改善策について
  - 学年ごとの対応に違いがあるが、どの学年も真摯に取り組んでいる。
- 自己評価の項目について
  - 10番等は、家庭の影響が大きいため自分に厳しい自己評価結果といえる。
- 教育目標「進んで学び、互いが育つかわりのできる南郷つ子の育成」を柱とした教育活動の成果について
  - 学年関係なく仲良く、お互いを大切にしている様子が伺える。
  - 地域学習が多くあり、南郷を知り故郷に対する教育に感謝している。
  - コロナ過に、行事を工夫しながら実施できたことに感謝している。

3 今後の改善方策

- 望ましい生活習慣の徹底を図るために、家庭・地域と協力しながら教育計画「南郷小のよい子の一日」の見直しと共通理解・共通実践を徹底する。
- 道徳教育、情報教育の充実のために、カリキュラムマネジメントの視点で各教科等において繰り返し実践する。
- ふるさと学習と教育充実のために、実践している地域学習の価値づけを意識して子ども達へ授業を展開する。
- 子どもと向き合う時間の確保のために、会議や行事の精選と業務の効率化、分業をすすめる。